



2020年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年6月15日

上場会社名 セルソース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4880 URL <https://www.cellsource.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎本理人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者 (氏名) 雨宮猛 (TEL) 0364555308
 四半期報告書提出予定日 2020年6月15日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年10月期第2四半期の業績 (2019年11月1日～2020年4月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年10月期第2四半期	886	—	187	—	187	—	118	—
2019年10月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年10月期第2四半期	59.77		55.91					
2019年10月期第2四半期	—		—					

(注) 2019年10月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、数値及び対前年同四半期増減率については、記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年10月期第2四半期	2,122	1,877	88.4
2019年10月期	1,842	1,607	87.3

(参考) 自己資本 2020年10月期第2四半期 1,877百万円 2019年10月期 1,607百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年10月期	—	0.00			
2020年10月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年10月期の業績予想 (2019年11月1日～2020年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,972	22.4	365	11.9	365	20.6	234	17.6	118.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年10月期2Q	1,992,000株	2019年10月期	1,920,000株
-------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2020年10月期2Q	一株	2019年10月期	一株
-------------	----	-----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年10月期2Q	1,981,714株	2019年10月期2Q	一株
-------------	------------	-------------	----

(注) 2019年10月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数（四半期累計）は記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合法的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実績の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2020年6月18日（木）に、オンラインによる機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

前年同四半期との比較分析については、株式会社東京証券取引所の「有価証券上場規程」第211条第6項の規定に基づき作成した2019年10月期第2四半期の四半期財務諸表を基に、参考情報として記載しております。

(1) 経営成績に関する説明

当社は、「再生医療関連事業」と「コンシューマー事業」を行っており、報告セグメントは当該2つの報告セグメントであります。「再生医療関連事業」では、脂肪由来幹細胞加工受託サービス、血液由来加工受託サービス及びFatBankサービスで構成される「脂肪・血液由来の組織・細胞の加工受託サービス」、医療機関に対し再生医療等安全性確保法に関連する書類作成等のサポートを行う法規対応支援サービスやKPIによる経営管理手法や人材マネジメント手法をサポートする経営管理支援サービスで構成される「コンサルティングサービス」及び医療機関が患者から脂肪等を採取するために必要となる機器を販売する「医療機器販売」を主に行っております。「コンシューマー事業」では、主に自社化粧品ブランド「シグナリフト」の美容液、クリーム、洗顔ジェル等、一般消費者向けの化粧品の製造販売を行っております。

当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高は886,289千円（前年同期比15.5%増）、売上総利益は598,139千円（前年同期比9.7%増）、販売費及び一般管理費は410,292千円（前年同期比1.6%減）、営業利益は187,846千円（前年同期比46.1%増）、経常利益は187,084千円（前年同期比46.2%増）、四半期純利益は118,448千円（前年同期比41.6%増）となりました。

報告セグメント別の実績は、以下のとおりです。

(再生医療関連事業)

再生医療関連事業では、加工受託サービスまたはコンサルティングサービスの契約を締結した当第2四半期末での提携医療機関数が404院（前年同四半期末から212院増加）と順調に増加いたしました。また、有効な治療効果などを受け提携医療機関の受託サービス利用の稼働率も上昇しております。その結果、当第2四半期累計期間における脂肪由来幹細胞加工受託サービスと血液由来加工受託サービスを合計した加工受託件数は3,481件（前年同期比1,693件増加）となるなどし、加工受託サービス、コンサルティングサービス、医療機器販売ともに順調に売上が拡大いたしました。なお、加工受託サービスにおきましては、新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大に伴い、加工受託件数が第1四半期会計期間（11月～1月）の1,922件から第2四半期会計期間（2月～4月）は1,559件へ減少するなどの影響を受けております。

売上の増加に比し販売費及び一般管理費の増加幅が抑制された結果、当第2四半期累計期間のセグメント利益率（営業利益率）は51.7%と前年同期の46.7%から改善いたしました。

これらの結果、本報告セグメントの当第2四半期累計期間の売上高は801,784千円（前年同期比56.1%増）、セグメント利益は414,416千円（前年同期比72.6%増）となりました。

(コンシューマー事業)

コンシューマー事業では、化粧品等のEC広告環境の変化を受け前事業年度後半から自社Webサイトでの広告出稿手法や価格戦略の大幅な転換を図るとともに、大手ドラッグストア「トモズ」等店舗での販売強化も段階的に進めておりますが、これら販売戦略変更に伴う成果は現時点では具現化しておりません。

これらの結果、本報告セグメントの当第2四半期累計期間の売上高は84,504千円（前年同期比66.7%減）、セグメント損失は25,292千円（前年同期は40,596千円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は2,122,567千円と前事業年度末から280,324千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が226,815千円増加したこと及び前払費用の増加などによる流動資産その他が47,779千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は245,388千円と前事業年度末から10,849千円増加いたしました。これは主に、未払金の減少などによる流動負債その他が52,504千円減少した一方で、未払法人税等が27,312千円増加したこと及び買掛金が25,979千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は、資本金75,513千円及び資本準備金が75,513千円増加したことに加え、四半期純利益118,448千円の計上により、前事業年度末から269,475千円増加し、1,877,179千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は1,560,367千円となり、前事業年度末と比較して226,815千円増加となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は126,794千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益187,084千円の計上及び仕入債務25,979千円の増加があった一方、法人税等の支払47,013千円及びその他による支出47,002千円などがあったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は48,335千円となりました。これは主に、長期前払費用の取得による支出23,480千円及び有形固定資産の取得による支出22,825千円などがあったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の増加は148,356千円となりました。これは主に、株式の発行による収入150,157千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月期の業績予想につきましては、2019年12月12日に公表いたしました予測値から変更はありません。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う再生医療関連事業における加工受託件数の減少がありましたが、緊急事態宣言解除以降の加工受託件数に復調傾向が見られるなどその影響は一時的と思われること、また、2020年10月期の通期業績予想に対する当第2四半期累計期間実績の進捗率は売上高が44.9%、四半期(当期)純利益が50.5%となっていることなどを鑑み、業績予想は据え置いております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年10月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,333,551	1,560,367
売掛金	135,733	123,960
商品及び製品	99,261	111,598
仕掛品	43,428	24,877
原材料及び貯蔵品	22,285	34,453
その他	21,731	69,511
貸倒引当金	△1,562	△1,418
流動資産合計	1,654,429	1,923,350
固定資産		
有形固定資産	73,020	84,256
無形固定資産	4,244	5,628
投資その他の資産		
その他	115,248	114,032
貸倒引当金	△4,700	△4,700
投資その他の資産合計	110,548	109,332
固定資産合計	187,813	199,217
資産合計	1,842,242	2,122,567
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,631	40,611
未払法人税等	47,012	74,324
賞与引当金	—	12,266
受注損失引当金	1,152	521
その他	167,456	114,952
流動負債合計	230,253	242,677
固定負債		
その他	4,285	2,710
固定負債合計	4,285	2,710
負債合計	234,539	245,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	593,424	668,937
資本剰余金	503,424	578,937
利益剰余金	510,855	629,304
株主資本合計	1,607,703	1,877,179
純資産合計	1,607,703	1,877,179
負債純資産合計	1,842,242	2,122,567

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)
売上高	886,289
売上原価	288,150
売上総利益	598,139
販売費及び一般管理費	410,292
営業利益	187,846
営業外収益	
受取利息	7
為替差益	204
雑収入	56
営業外収益合計	267
営業外費用	
支払利息	161
株式交付費	869
営業外費用合計	1,030
経常利益	187,084
税引前四半期純利益	187,084
法人税、住民税及び事業税	66,028
法人税等調整額	2,607
法人税等合計	68,635
四半期純利益	118,448

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期累計期間	
(自 2019年11月1日	
至 2020年4月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	187,084
減価償却費	12,235
長期前払費用償却額	21,078
敷金償却	1,773
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△143
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12,266
受取利息	△7
支払利息	161
株式交付費	869
売上債権の増減額 (△は増加)	11,772
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,953
前渡金の増減額 (△は増加)	△19,864
仕入債務の増減額 (△は減少)	25,979
前受金の増減額 (△は減少)	△26,287
その他	△47,002
小計	173,962
利息の受取額	7
利息の支払額	△161
法人税等の支払額	△47,013
営業活動によるキャッシュ・フロー	126,794
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△22,825
無形固定資産の取得による支出	△2,030
長期前払費用の取得による支出	△23,480
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,335
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	150,157
リース債務の返済による支出	△1,501
その他	△300
財務活動によるキャッシュ・フロー	148,356
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	226,815
現金及び現金同等物の期首残高	1,333,551
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,560,367

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年11月27日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資による新株式発行72,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ75,513千円増加しております。この結果、当第2四半期会計期間末において資本金が668,937千円、資本準備金が578,937千円となっております。

(セグメント情報等)

当第2四半期累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	再生医療関連 事業	コンシューマー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	801,784	84,504	886,289	—	886,289
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	801,784	84,504	886,289	—	886,289
セグメント利益又は損失(△)	414,416	△25,292	389,124	△201,277	187,846

(注)1.セグメント利益又は損失(△)の調整額△201,277千円は、各報告セグメントに含まれない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(ストックオプションとしての新株予約権の発行)

当社は、2020年5月25日開催の取締役会において、2020年1月28日開催の第4回定時株主総会において承認されました、会社法第236条、第238条及び第239条の規定に基づく、ストックオプションとしての新株予約権の発行について決議いたしました。

1. ストックオプションとしての新株予約権を発行する理由

当社の従業員及び社外協力者に対して、当社の業績向上への意欲と士気を一層高めることを目的として、当社の従業員及び社外協力者を対象として新株予約権を無償で発行するものであります。

2. 新株予約権の発行要領

(1) 新株予約権の発行日 2020年6月10日

(2) 新株予約権の発行数 34個(新株予約権1個につき普通株式100株)

(3) 新株予約権の発行価額 金銭の払込みを要しない

(4) 新株予約権の目的となる株式の種類及び数 当社普通株式 3,400株

(5) 新株予約権の行使に關しての払込金額 1株につき10,600円

(6) 新株予約権の行使期間 2022年6月10日から2030年1月28日

(7) 新株予約権行使により株式を発行する場合の発行価格及び資本組入額

発行価格 1株につき10,600円 資本組入額 1株につき5,300円

(8) 新株予約権の割当対象者及び割当数 当社の従業員13名 21個、社外協力者5名 13個